

# 福井城 古跡探訪

本丸周辺は  
見どころがいっぱい!

回遊式林泉庭園と書院造の建物を有する旧福井藩主松平家の別邸。戦災で焼失したが、発掘調査の結果や絵図等をもとに復元された。国の名勝に指定(宝永3丁目)

**養浩館** (お泉水屋敷)  
ようこうかん おせんすいやしき



福井城北側の外堀に配されていた舎人門。福井市立郷土歴史博物館の建設に伴う発掘調査により遺構を確認し、それをもとに復元された。屋根は往時を偲ばせる越前赤瓦を使用している(宝永3丁目)

**福井城舎人門** (復元)  
とねりもん



本丸の北西端には四層五階の壮大な天守(天守台を含む高さ37メートル)が建っていた。1669年(寛文9)4月の大火で焼失して以来、再建されることはなかった。天守台跡は見学可能



**天守台跡**  
てんしゅだいあと



現在の福井城本丸跡と内堀。城は1871年(明治4)に廃城となり、本丸を囲む堀と石垣のみが往時を偲ばせる。石垣は福井市の足羽山で産出する笏谷石で築かれている。お堀に囲まれた雄大な石垣の姿は全国屈指の美しさといわれる

## 福井城のことがわかる博物館

### 福井市立郷土歴史博物館

先史古代から戦後の復興期に至る郷土史料を展示。福井城と城下町に関する史料や、越前松平家ゆかりの史料も充実

福井市宝永3丁目  
0776(21)0489

### 福井県立歴史博物館

福井城下を描いた「馬威(うまおどし)図屏風」ほか、城下の風景を彩った越前赤瓦や越前青石(笏谷石)なども見応えがある

福井市大宮2丁目  
0776(22)4675

藩主が西三ノ丸御座所と本丸を行き来する際に通った御廊下橋。明治初期の写真をもとに忠実に復元されている。夜間(午後10時まで)はライトアップされ、堀の水面に浮ぶ幻想的な姿を見ることができる



**御廊下橋** (復元)  
おろうかばし

本丸の南西にあった坤(ひつじさる)櫓跡。内堀の外側には遊歩道が設置され、四季折々に表情を変える水面と石垣の美しい姿を楽しませてくれる

**坤櫓跡と内堀**  
ひつじさるやくらあと



**瑞源寺** (足羽5丁目)  
(すいげんじ)

足羽山麓にある瑞源寺の本堂は福井城の本丸御小座敷、書院は大奥御座の間を移築したもの。現存する唯一の福井城の建築遺構として県文化財に指定。内部の見学には事前連絡が必要

最大幅が55間(約100メートル)あった福井城最大の百間堀の跡。駅前地下駐車場の建設に伴う工事の際に遺構を発掘。石垣の一部が見学できる(中央1丁目歩道内)



※右の写真の地下に展示されている石垣

**百間堀跡**  
ひゃっけんぼりあと



※巽櫓跡の石垣は危険なため登ることはできない

**巽櫓跡**  
たつみやくらあと

巽櫓は本丸の南東隅に建てられていた。1669年(寛文9)4月の大火で天守が焼失したため、それ以降、坤櫓とともに福井城のシンボルとして明治初期まで存在した